

東京 2020 大会メダリストへの副賞（ビクトリーブーケ）について

東京 2020 組織委員会は、東京 2020 大会のメダリストに授与する副賞のビクトリーブーケのデザインを 2019 年 11 月 12 日に発表しました。世界中の人々と称賛の瞬間を共有できるよう、デザインは明るい色を基調としています。また、東日本大震災で被災した地域で育てられた花を中心にブーケに使用する予定です。世界最大のスポーツイベントであるオリンピック・パラリンピックを通じて、被災地の方々とともにその魅力を世界に向けて発信します。

オリンピック時のイメージ



使用予定の花材と産地：トルコギキョウ（福島県産）、ヒマワリ（宮城県産）、リンドウ（岩手県産）、ナルコラン（福島県産）、ハラン（東京都産）
規格：幅約 17cm、高さ約 28cm

パラリンピック時のイメージ



使用予定の花材と産地：トルコギキョウ（福島県産）、バラ（宮城県産）、リンドウ（岩手県産）、ハラン（東京都産）
規格：幅約 17cm、高さ約 30cm

副賞のビクトリーブーケは、オリンピック・パラリンピック合計で約 5,000 個を用意する予定です。ブーケ作成にあたっては、ブーケのデザインを提案いただいた日本花き振興協議会にご協力いただきます。ブーケには、メダリストの手元に残り家族や親しい友人と記憶を共有できるものとして、東京 2020 オリンピックマスコット「ミライトワ」とパラリンピックマスコット「ソメイティ」のぬいぐるみをそれぞれに取り付けます。

